

共通小委員会報告

地震被害調査小委員会

委員長：高橋良和（京都大学）

幹事長：渡邊学歩（山口大学）

委員総数：21名

地震被害調査小委員会の活動内容

- 国内外での地震発生時に、メールによる情報収集および調査団派遣の必要性の検討
 - 2016年10月21日鳥取県中部で発生した地震
- 2016年熊本地震に関わる継続対応
- 土木学会が収集した観測地震記録ダウンロードサイトの運営

2016年10月21日鳥取県中部で発生した地震

- 10月21日14時07分頃、鳥取県中部で最大震度6弱を記録する地震が発生し、情報収集・共有のため、特設ホームページを開設した(10月21日15時18分)。

The screenshot shows the official website of the JISCE Earthquake Damage Investigation Subcommittee. The page title is "2016年10月21日鳥取県中部で発生した地震". It includes a navigation menu on the left with categories like "地震工学委員会 地震被害調査小委員会メニュー" and "地震被害状況収集". The main content area provides details about the earthquake, including the date and time (October 21, 2016, 14:07), the location (central Tottori Prefecture), and the maximum seismic intensity (6.6). It also lists the epicenter and depth (10km) and the fault mechanism (strike-slip). A table of seismic intensity observations is provided, showing a maximum of 6.6 in Kurayama City and surrounding areas. The page also includes a section for "情報" (Information) with links to related reports and news items.

2016年10月21日鳥取県中部で発生した地震

- 2018年4月19日に現地調査(個人, 倉吉市)



- JR山陰線の無筋コンクリート橋脚(河川内)が大きくひび割れ貫通, コンクリートの脱落などを確認。
- 応急対策され, 供用中。

2016年熊本地震に関わる継続対応

- 土木学会災害調査団先遣隊（2016年4月15日～17日）
- 土木学会災害調査団（地震工学委員会・コンクリート委員会・構造工学委員会・地盤工学委員会合同）（2016年6月20日-21日）
- 防災学術連携体主催の熊本地震・三ヶ月報告会（日本学術会議）において、被害状況と対策について発表（2016年7月16日）
- 土木学会全国大会（東北大学）において親委員会主催の2016年熊本地震特別セッションで報告（2016年9月8日）
- 親委員会主催の2016年熊本地震1周年報告会（九州大学）において、橋梁構造物の被害分析について発表（性能に基づく橋梁等構造物の耐震設計法に関する研究小委員会活動と協働）（2017年4月26日）

土木学会災害調査団

- 団員
 - 高橋良和(京都大学)：団長，地震工学委員会
 - 秋山充良(早稲田大学)：構造工学委員会
 - 庄司学(筑波大学)：地震工学委員会幹事長
 - 梶田幸秀(九州大学)：地震工学委員会
 - 葛西昭(熊本大学)：地震工学委員会
 - 藤田亮一(エイト日技)：地震工学委員会熊本地震WG幹事
 - 重石光弘(熊本大学)：コンクリート委員会
 - 尾上幸造(熊本大学)：コンクリート委員会
 - 後藤聡(山梨大学)：地盤工学委員会委員長
- 日時
 - 2016年6月20日-21日

熊本県との調査協力体制の構築と現地調査

現地調査によるひび割れ状況立体図

